

信仰の手足を強めて

ヘブライ人への手紙—二章12—29節

だから、萎えた手と衰えた膝をまっすぐにしなさい。(12)

信仰のレースにおいて、途中で棄権してしまう恐れがあります。信仰の手足が弱ってしまふからです。この手紙が書かれたのは、教会に対するローマ帝国による迫害が始まった頃でした。人目を忍ぶようにして集會に集い、信仰を必死に守る生活を続けているうちに疲れてくるのです。思わず座り込みたくなるのです。信仰をやめてしまったほうが、どんなに楽だろうかと考えてしまふのです。著者はそのような人々に励ましを与えています。「萎えた手と衰えた膝をまっすぐにしなさい」。同時に、「自分の足のために、まっすぐな道を造りなさい」(13)と。走るのに邪魔となる障害物を道から取り除くようにとの勧めです。様々なものが私たちの手足を弱め、倒れるように仕向けるからです。信仰の歩みが途絶えてしまふことのないように、弱りやすい信仰の足腰を強くしようではありませんか。